



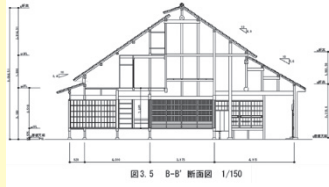
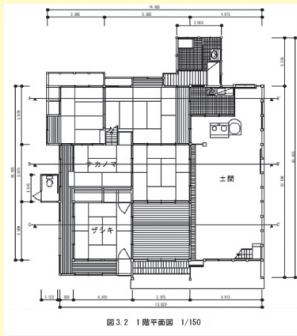
地域の空間的・建築的特徴を探る

～町及び町家、集落及び民家の空間構成～

研究シーズ概要

町家が残る近世・近代の町、民家が立地する集落。これらの中にはこれからのまちづくりやむらづくりを求められているものが少なくありません。これらの建築的、空間的特徴を、現在の姿に至る変容過程と、建物とそれが立地する土地、町、集落との関係から捉え明らかにします。

そこには変わってきたものと変わらないものが存在しています。変わらないものに着目し、そこに今後の在り方の手掛かりを求めます。



利点・特長・成果

近年、まちづくりやむらづくりの話題には事欠かない状況にありますが、目先のことだけを優先したものは長続きしないし、なかなかうまくいっていないように思えます。“地域”の構造(変わらないもの)を踏まえたうえで、その手法を考えていきます。



修景改修（玉名市高瀬）

その他の研究シーズ

- 町並みや集落における修景計画
- 住まいにかかる居住者動態調査

キーワード 町や集落の空間構成、民家、変容過程、変わらないものやこと

本技術に関し、対応可能な連携形態(サービス)

知財活用	可	技術相談	可	共同研究	可
施設機器の利用	否	研究者の派遣	可	技術シーズ 水平展開	否

開発段階

5	第5段階	製品・サービス化(試売/量販)段階	2	第2段階	試作(ラボ実験レベル)段階
4	第4段階	ユーザー試用段階	1	第1段階	基礎研究・構想・設計段階
3	第3段階	試作(実証レベル)段階			

SDGsの目標

11 住み続けられるまちづくりを

